

道徳班

## 「友達と仲よくし、助け合う」道徳的実践力を育てる道徳指導の工夫

—生活科「旭小まつり」でのグループ活動をかかわらせて—

堀越 慶太  
(小学校教諭)

(ねらい)

道徳の時間「旭小まつり ピンチをチャンスに」を生活科「旭小まつり」の実践と組み合わせることによって、友達と仲よくし、助け合うことのよさを深く感じとり、道徳的実践力を高める。

(組み合わせた単元計画)

道徳の時間 2時間	組み合わせた 単元計画 全16時間
生活科 14時間	

道徳の時間「旭小まつり ピンチをチャンスに」  
(自作資料、内容項目2-(3)「友達と仲よくし、助け合う。」)

生活科「旭小まつり」  
グループ活動と結びつけた実践(小学2年生、10～11月)

### 道徳授業での手だて

手だて1

◎これまでの生活科を映像で振り返る。

手だて2

◎自作資料を作成する。

手だて3

◎児童の好きな役割演技劇を取り入れる。



手だて4

◎家の人からのメッセージを紹介する。

### 児童の活動の様子

◎学校探検のお手伝い、町探検がよくできていたグループの様子について気付いたことを発表する。(導入での道徳的価値の方向付け)

◎自作資料「旭小まつり ピンチをチャンスに」(内容項目2-(3)「友達と仲よくし、助け合う。」)を使い、旭小まつりに向けた生活科での取組と関連付け、現実感をもたせる。

◎役割演技劇→事前に資料を配ってグループごとに配役を決めて、全員が練習に取り組む。グループごとの演技を評価し合い、発表者を選んでおく。

◎教師範読はせず、児童の代表による劇に委ねる。(ナレーター及び役割演技)→資料の主人公の気持ちを考える。(展開前段)

◎保護者代表によるビデオレターを紹介する。(旭小まつりに招待してくれてありがとうという気持ち)

◎それぞれの児童に親から預かった励ましの手紙を配る。(各家庭より)

児童の声・変容

- ・「やくわりえんぎをすると、おはなしがとてもよくわかった！  
でてくる人の気もちもとても考えやすくなったよ！」
- ・「おてがみをもらってうれしかった。おまつりではがんばるよ！  
ぜったいきてね！」
- ・「あさひ小まつりに出したおみせは人気だった。みんなでアイデアをだしあって、しょうひんをたくさん作ったからだよ。グループ活どう、大すき！」
- ・「どうとくの旭小まつりピンチをチャンスにと、せいかつかの旭小まつりをいっしょにやると、もっと旭小まつりがたのしくなり、なかよくできました。」

